

# 平成16年度サロベツ自然再生事業住民等意向調査報告書

## 1. 「国立公園」の理解とニーズ

国立公園の理解度に関する設問を、平成16年度「利尻礼文サロベツ国立公園アンケート」と比較した。

### ■道内の国立公園の認知

道内の6つの国立公園の認知度は、1位「阿寒」、2位「釧路湿原」、3位「知床」の順である。平成16年調査と比べると「釧路湿原」は今回の方が高いものの、他はいずれも低く、特に「利尻礼文サロベツ」は今回大幅に下がっている。「利尻礼文サロベツ」は国立公園であるということがあまり理解されていないようだ。

### ■「国立公園」の理解

国立公園について理解していることは、1位「木を切ったり動植物を採取する場合に許可・届出が必要であること」、2位「建物や道路などを造る場合に、許可・届出が必要であること」。3位「一部の地区で車両止め等の交通規制があること」の順となっている。

平成16年調査と比べると若干低下気味だが大きな違いはみられない。

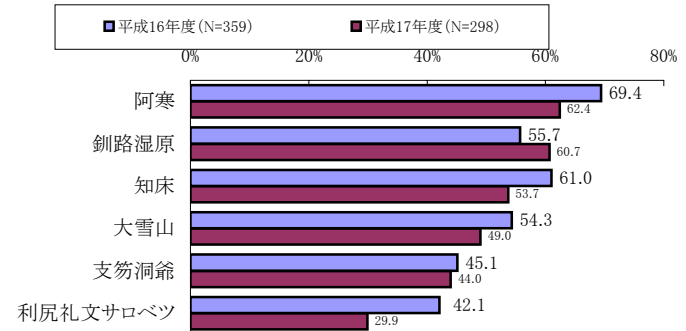
### ■充実してほしい施設・設備

国立公園に充実してほしい施設・設備は、「遊歩道・登山道・散策道」「トイレ」「ビジターセンター」「案内板や標識」が上位となっている。平成16年調査と比べると、「トイレ」「ホテル等の宿泊施設」「飲食・ショッピング施設」など減少している項目が多い。一方で「キャンプ・オートキャンプ場」は増加している。

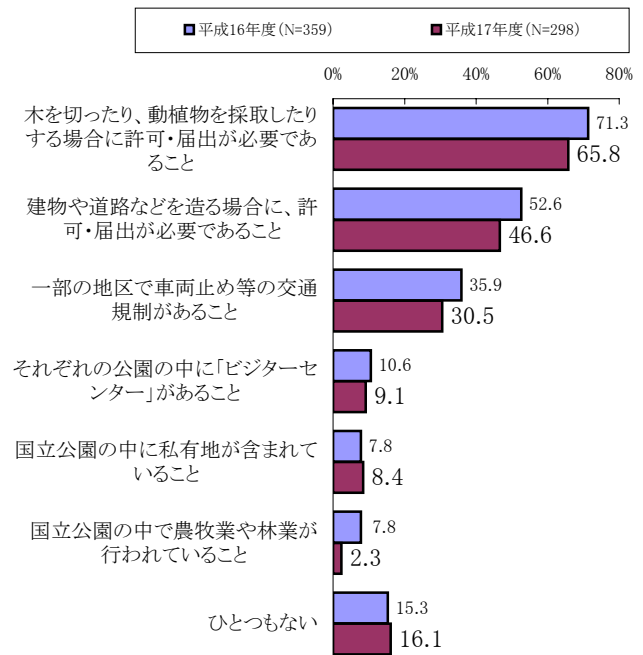
一概には言えないが、施設・設備を充実してほしいということより、自然を楽しめるようにしてほしいということへ、ニーズが変わってきているのではなかろうか。

★平成16年度「利尻礼文サロベツ国立公園アンケート調査」  
調査方法)アクセスネット(電話)を利用した読者アンケート調査  
サンプル数)有効回収数359名  
調査期間)平成16年5月20日～平成16年7月19日  
※アンケートは「じゃらん北海道発6月号」に掲載

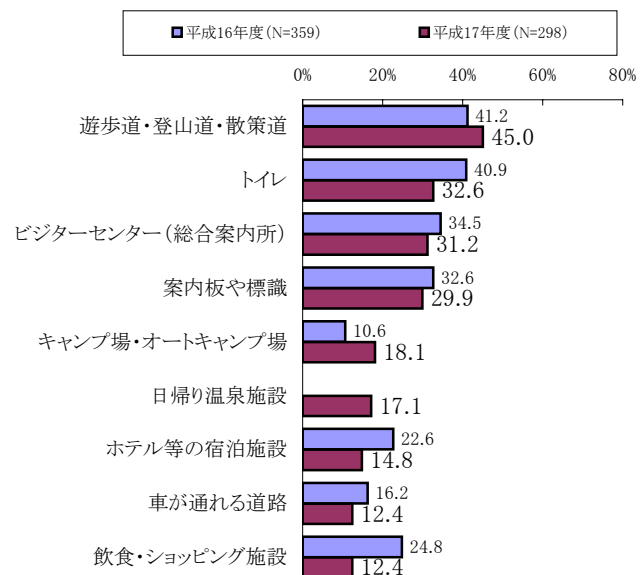
＜道内の国立公園の認知＞



＜国立公園の理解＞



＜国立公園に充実してほしい施設・設備＞



## 2. サロベツ原野

### ■自然再生事業の認知

自然再生事業については「知っていた」人が2割弱、『自然再生事業』は知っていたがサロベツ原野で行われていることは知らなかった」人が2割強である。平成16年調査と比べても大きな違いはみられない。

サロベツ原野の自然再生事業については、地元旭川圏の認知率が高いが、札幌圏や本州が低い。もっと広域的なPRが必要であろう。(圏別は「Ⅲ調査結果の詳細」参照)

### ■自然再生事業の方向性

今回の調査では、自然再生事業の方向性について質問した。最も多かった意見は「詳細な調査を行い、必要な事業を厳選すべき」というもので約半数を占める。人手をかけるかかけないかについては、「できるだけ人手を加えずに自然の力に任せるべき」が「積極的に人手をかけて良好な状態にすべき」を上回っている。これを自然再生事業の認知別に見ると、「積極的に人手をかけて良好な状態にすべき」はサロベツ原野で自然再生事業が行われていることを「知っていた」人が最も高い。このように、知識や理解内容によって方向性についての意見に違いがみられる。(認知別は「Ⅲ調査結果の詳細」参照)

### ■湿原乾燥化の原因

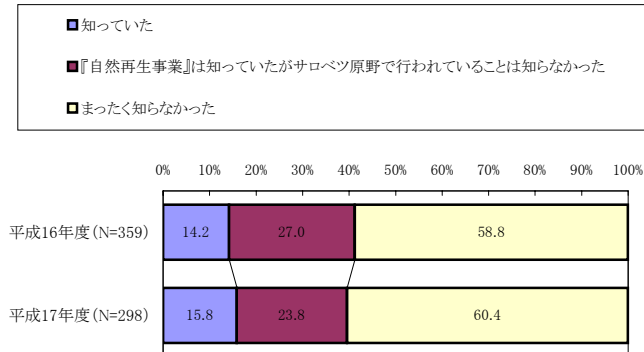
サロベツ湿原乾燥化の原因は、「気候変動・地球温暖化等による降雪量の減少」という回答が過半数を占め最も多い。

圏別にみると、「住宅拡大などによる周辺の開発」「河川の直線化などによる周辺の開発」「観光客の湿原への過度の踏み込み」はいずれも地元旭川圏が最も高い。地元の人は、気候変動よりも都市化や開発、観光客の増加の影響の方が大きいとみているようだ。

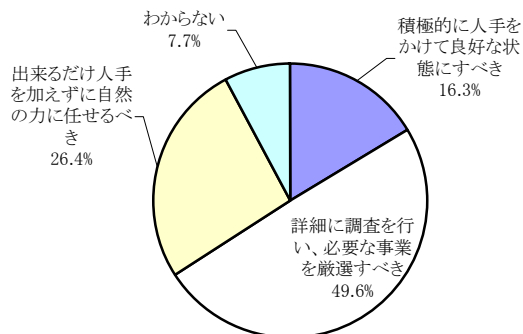
### ■サロベツ原野についての関心

サロベツ原野についての関心事は、「湿原・原生花園」「風景・景観」「花などの植物」「野鳥・動物」が上位。平成16年調査と比べると、「湿原・原生花園」と「花などの植物」が増加し、「風景・景観」が減少している。サロベツ原野の動植物に対する関心が高まっている。

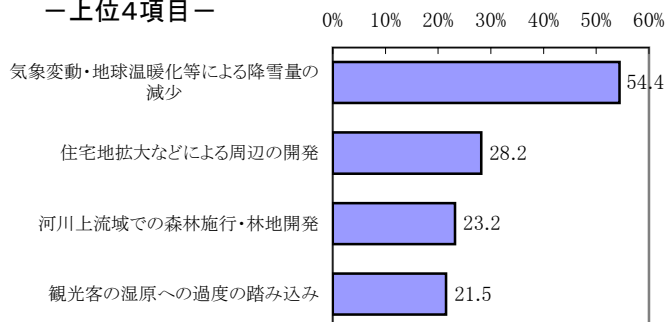
#### <自然再生事業の認知>



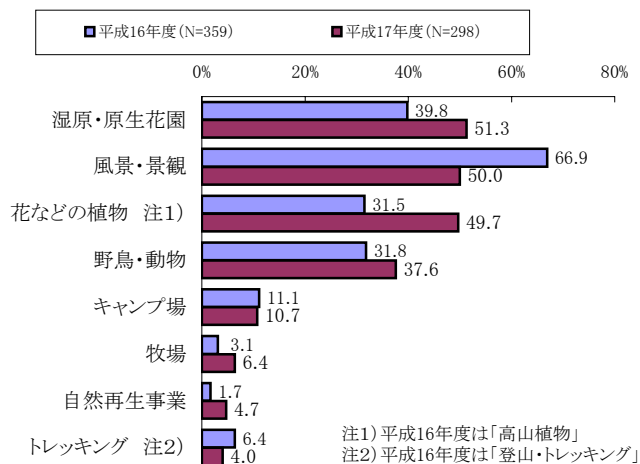
#### <自然再生事業の方向性>



#### <湿原乾燥化の原因> —上位4項目—



#### <サロベツ原野についての関心事>



## ■動植物に関する情報ニーズ

サロベツ原野について欲しい情報は、1位は「公園内の遊歩道や休憩所の案内」だが、2位には「高山植物や動物など自然に関する情報」が入っている。関心事でも上位だったが動植物のことを知りたいというニーズは今後ますます高まるものと思われる。

## ■適当だと思う案内料

1時間の自然観察プログラムがあり、「花ガイド」、「自然ガイド」に案内してもらった場合、案内料を求められるとしたらいくらなら適当だと思うかとの質問に対しては、「1000円程度」「500円程度」という回答が多い。

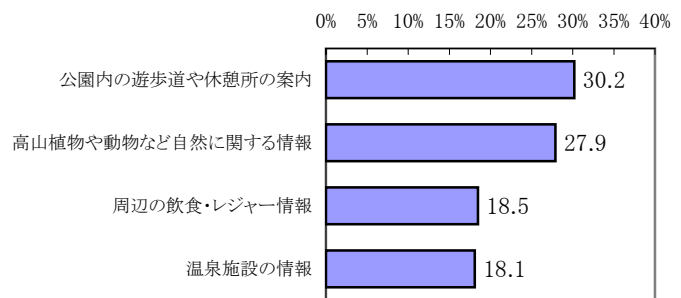
平均は734円で、払うとしたらアルバイトの時給程度ということになる。

## ■体験メニューのニーズ

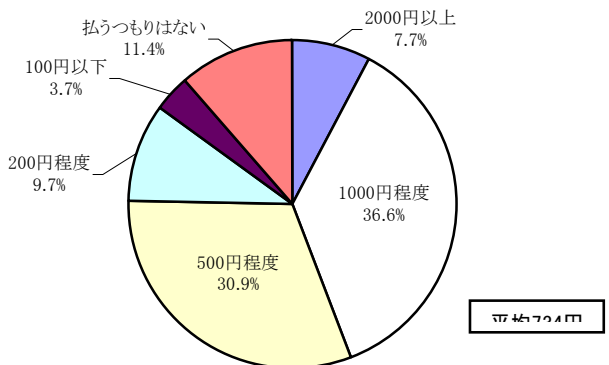
1位「そば打ち、チーズ・ソーセージづくりなどの食べ物づくり体験」、2位「野菜の収穫、イチゴ狩りなどの農園・果樹園体験」と、いずれも“食”に関する体験メニューが上位になっている。

これを年代別にみると、「樹木、花、高山植物などの植物観察」「バードウォッチング・アニマルウォッチング」「海岸に漂着したゴミ清掃体験」は男性30代が高い。この層は、自然志向が高いことと合わせて、環境意識も高いものと思われる。

### <サロベツ原野について欲しい情報> ーベスト4ー



### <適当だと思うサロベツ原生花園の案内料>



### <やってみたい体験メニュー>

